

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】 (H25.8.31現在)

	8月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成25年度(今年度)	4件	25件	1人	10人
平成24年度(昨年度)	7件	85件	1人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

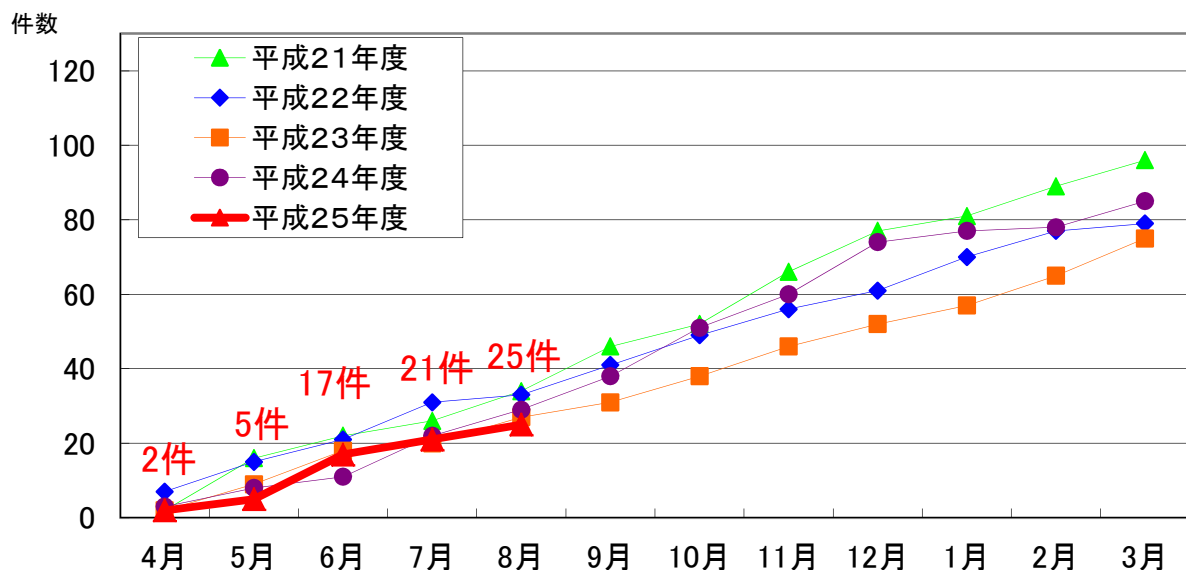
注2) 「8月発生件数」は、8/1～8/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成25年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

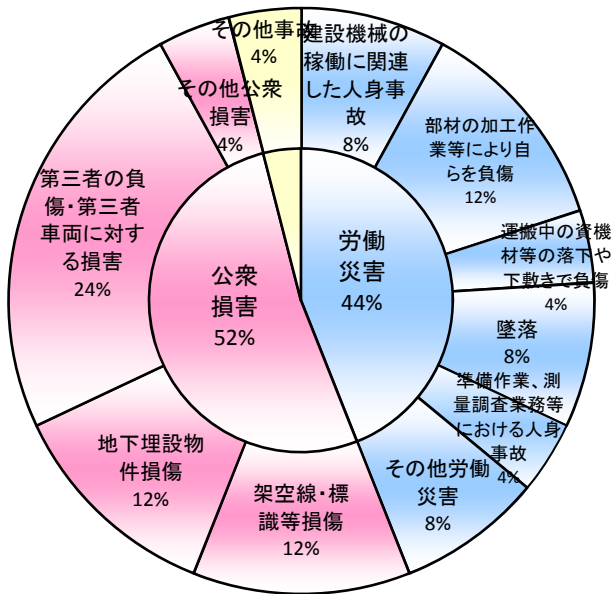
●工事事務件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	17件 (12件)	21件 (4件)	25件 (4件)							

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

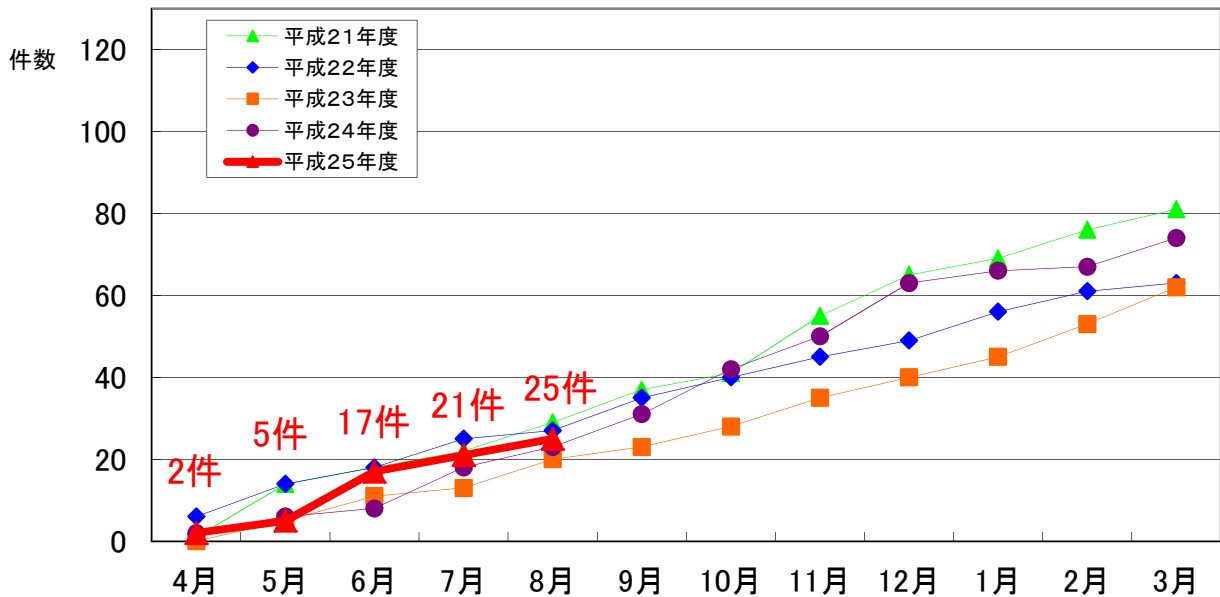
●平成25年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H23	H24	H25	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	4	7	2	13
	部材の加工作業等により自らを負傷	1	0	3	4
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	5	9	1	15
	墜落	3	5	2	10
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	1	1
	その他労働災害	1	6	2	9
	小計	14	27	11	52
公衆損害	架空線・標識等損傷	9	10	3	22
	地下埋設物件損傷	8	7	3	18
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	22	19	6	47
	その他公衆損害	18	19	1	38
	小計	57	55	13	125
	その他事故	3	3	1	7
	計	74	85	25	184

● H25年度重点的安全対策項目

(参考) 工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

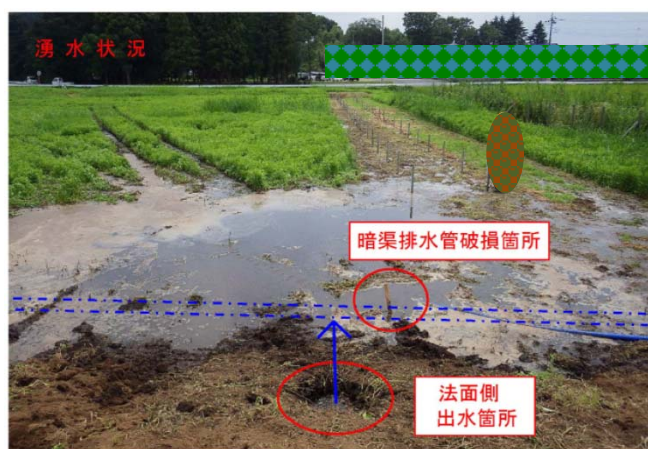
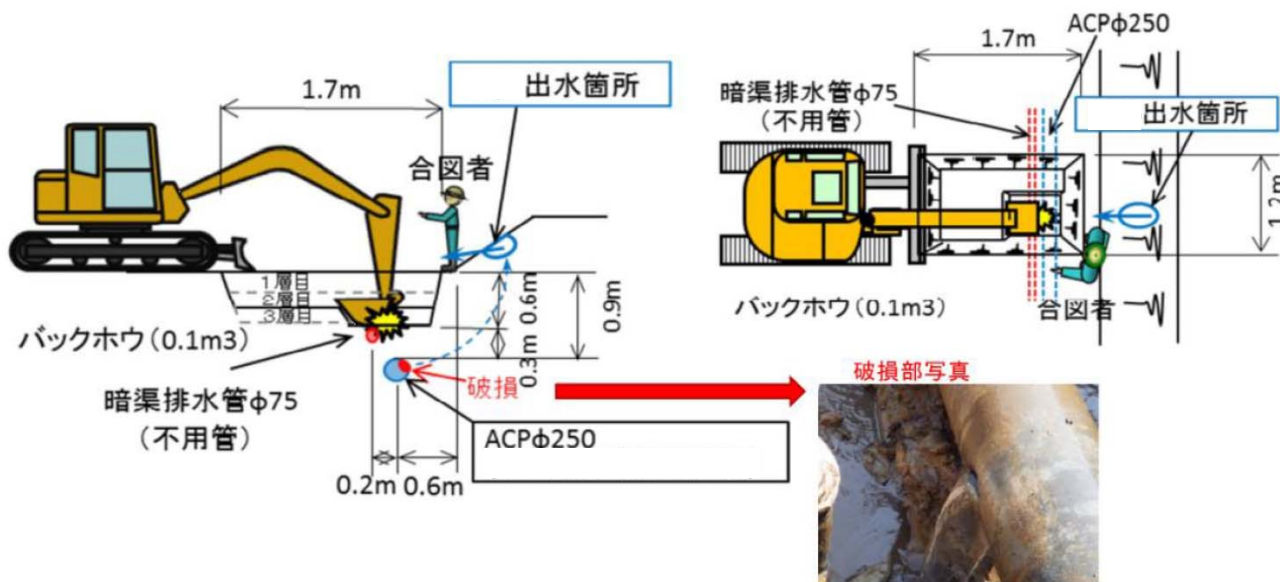


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成21年度 累計(月毎)	1件(1件)	14件(13件)	18件(4件)	22件(4件)	29件(7件)	37件(8件)	41件(4件)	55件(14件)	65件(10件)	69件(4件)	76件(7件)	81件(5件)
平成22年度 累計(月毎)	6件(6件)	14件(8件)	18件(4件)	25件(7件)	27件(2件)	35件(8件)	40件(5件)	45件(5件)	49件(4件)	56件(7件)	61件(5件)	63件(2件)
平成23年度 累計(月毎)	0件(0件)	5件(5件)	11件(6件)	13件(2件)	20件(7件)	23件(3件)	28件(5件)	35件(7件)	40件(5件)	45件(5件)	53件(8件)	62件(9件)
平成24年度 累計(月毎)	2件(2件)	6件(4件)	8件(2件)	18件(10件)	23件(5件)	31件(8件)	42件(11件)	50件(8件)	63件(13件)	66件(3件)	67件(1件)	74件(7件)
平成25年度 累計(月毎)	2件(2件)	5件(3件)	17件(12件)	21件(4件)	25件(4件)							

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・桑田 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 25 年 8 月 5 日 (月) 10 時 30 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	農業用パイプライン損傷		
事故概要	防塵ネット設置作業の際、単管パイプを打ち込む前に埋設管の位置を試掘中に農業用のパイプラインを破損したもの。					
	公衆損害—地下埋設物件損傷					

事故発生状況



【事故発生原因】

- ・作業手順書の周知・徹底不足。
- ・地下埋設物に対する注意喚起の不足など

【事故防止のポイント】

- ・埋設管付近で作業を行う場合は、的確な作業手順書を作成・周知・徹底し、慎重に作業を行う。 など

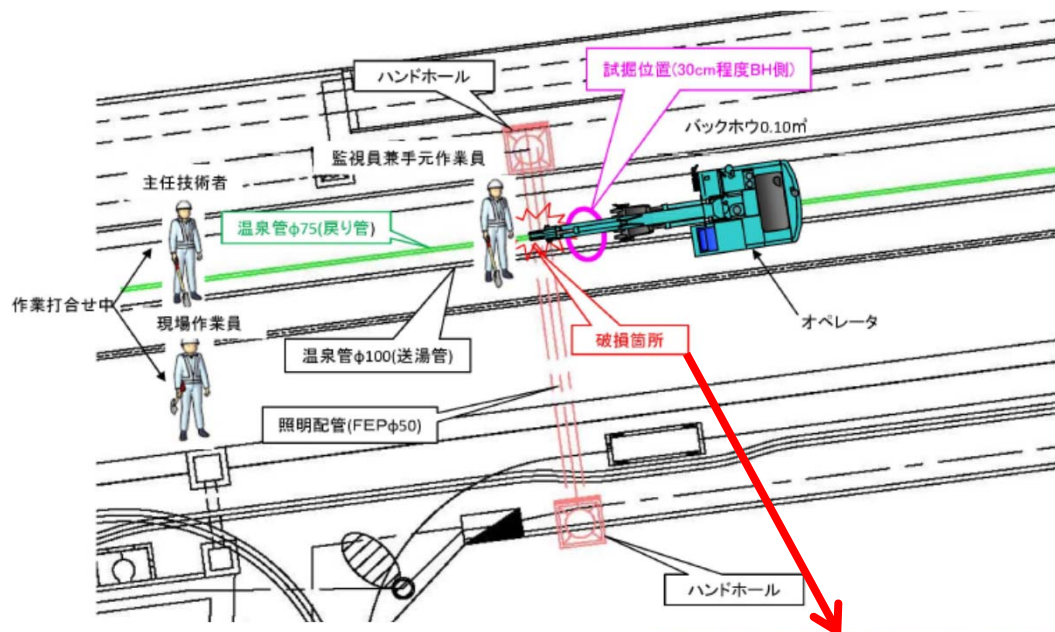
・防塵ネット設置作業において、単管パイプを打ち込む作業を行う前にパイプラインの正確な位置を確認するための試掘を行っていた。

・人力にて試掘を実施し、掘削で出た土砂をバックホウ(0.1m³)に積込みするためにバケットを下ろした。その際、合図者の合図が明確でなく、かつバックホウオペレーターが合図者の合図を見落とし、操作を誤って暗渠排水管を押しつぶした衝撃で、下部に埋設されていたパイプラインを破損させた。

・当日、当該作業は予定されていなかったが、工程を遅らせないために、急遽、当日の朝に本作業を行うように変更した。作業手順は朝礼時に口頭説明を行っていた。

発生日時	平成 25 年 8 月 9 日 (金)				13 時 10 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	—	—	—	温泉管損傷			
事故概要	電気配管の道路横断を行うため、バックホウで掘削作業中、埋設されていた温泉管を損傷させたもの。						
	公衆損害—地下埋設物件損傷						

事故発生状況



・照明配管の敷設にあたり、バックホウ0.10m3級を使用し、道路横断部の掘削を行っていたところ、温泉管(戻り管φ75)の直上(埋設シートよりも上)に転石が出現したため、一旦バックホウでの床掘作業を止めて、監視員兼手元作業員がその転石をスコップ(人力)で除去しようと試みたが動かせなかった。

・そこで監視員兼手元作業員がバックホウのオペレータに転石を除去するよう指示し、バックホウ(0.1m3級)で除去する際、バケットの爪で温泉管の戻り管を破損させた。

・図面等による事前確認、直近箇所での試掘を実施していた。(ほぼ想定通りの埋設深さであった、)

【事故発生原因】

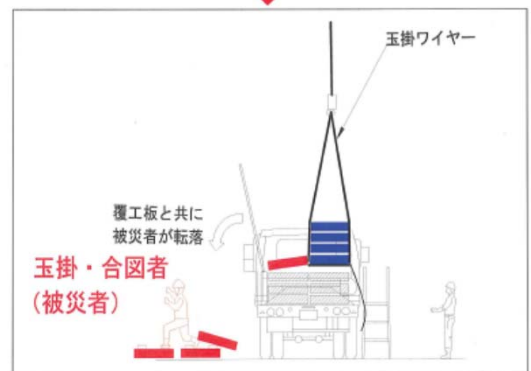
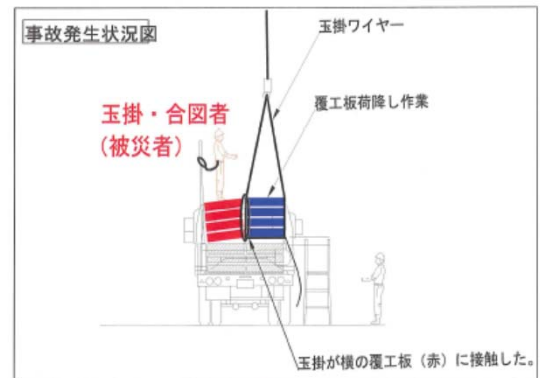
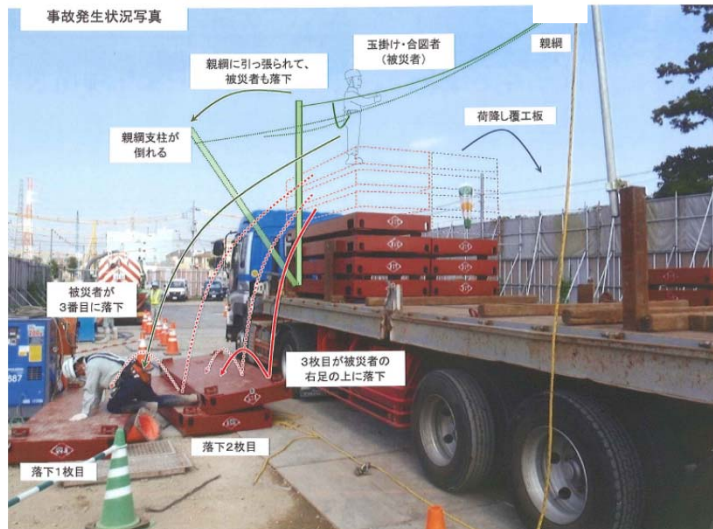
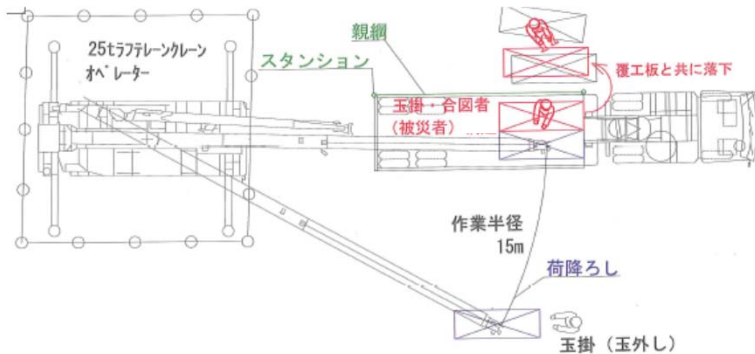
・地下埋設物付近で作業を行う際の注意不足。
など

【事故防止のポイント】

・埋設物に近接して作業を行う際の注意事項を周知・徹底する。
など

発生日時	平成 25 年 8 月 12 日 (月)				9 時 40 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	35	とび工	右足腓骨骨折、左足踵骨骨折			
事故概要	覆工板の荷下ろし作業中、覆工板が荷くずれを起こして荷台から落下。その上にいた玉掛け作業員も一緒に荷台から落下し、遅れて落下してきた覆工板と作業員の足が接触、負傷したもの。						
	労働災害－運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷						

事故発生状況



・覆工板荷降ろし作業中、被災者は隣接の覆工板積荷上で合図を行っていた。(玉掛け者兼合図者)

・覆工板(4枚分)を吊り上げ中にワイヤーのシャックルが被災者が載った隣接の覆工板(上から4枚目)に引っかかっていたが、気づかずに巻き上げたため、浮き上がった覆工板の上2枚が滑り落ち、被災者がかけていた親綱支柱が倒れ、被災者も親綱に引っ張られるように落下し、左足踵骨を負傷した。

・そこへもう一枚が被災者の右足の上に落下し、右足腓骨を負傷した。

【事故発生原因】

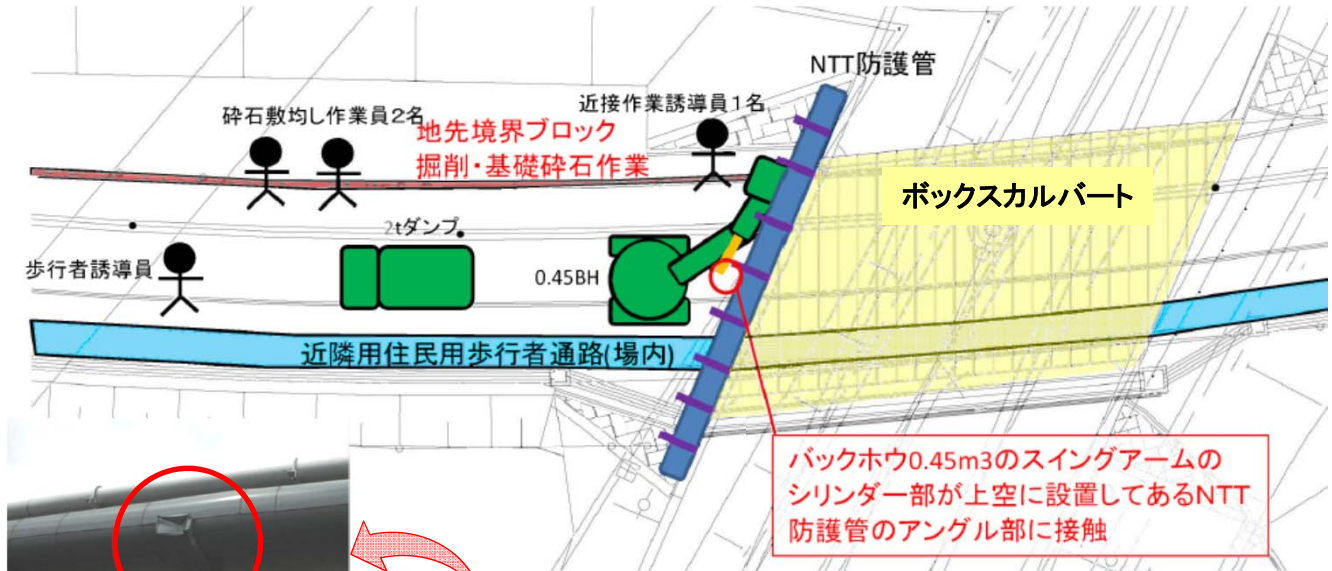
・荷を吊り上げる時、積荷の覆工板上から退避せずに合図作業を行っていた
など

【事故防止のポイント】

・合図者は、吊り荷がよく見え、オペレーターからもよく見える位置で、かつ、作業範囲外に位置して合図を行うことを徹底する。
など

発生日時	平成 25 年 8 月 20 日 (火) 11 時 50 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	NTT防護管(アングル部)損傷		
事故概要	工事現場内のボックスカルバートに添架されているNTT管の防護管(アングル部)にバックホウのシリンダーが接触し、防護管(アングル部)が損傷したもの。					公衆損害—架空線・標識等損傷

事故発生状況



・現場内で地先境界ブロックの掘削作業を誘導員の合図の元にバックホウ(0.45m³)にて行っていた。

・ボックスカルバート付近に取り掛かり、端部で掘削作業を行っているとオペレーターが判断し、バックホウのスイング式アームをスライドさせたところ、アーム後方のシリンダーがボックスカルバート側に突出し、ボックスカルバートの横に設置されていたNTTの防護管のブラケット部分に接触し、損傷を与えた。



ここが
接触

【事故発生原因】

・近接構造物に対する安全対策や作業員への注意が不十分
など

【事故防止のポイント】

・構造物に近接して作業を実施する際の手順を周知・徹底する。
など